

第6回

武蔵野市立第五中学校改築懇談会

令和2年12月21日

於 武蔵野市役所 811会議室

武蔵野市教育委員会

第6回 武蔵野市立第五中学校改築懇談会

○令和2年12月21日（月曜日）

○出席委員

刀根座長 沖山副座長 秋山委員 大坪委員 荻原委員 金子（孝）委員 金子（知）委員
島田委員 濱口委員 林委員 藤井委員 森委員

○事務局出席者

西館教育企画課学校施設担当課長 渡邊教育企画課長 木村副参事 深見課長補佐兼財
務係学校改築担当係長事務取扱 関主査 松本主事 藤野主事 渡邊主事

○進行

1. 議事

- (1). 第五学校改築基本計画素案への意見募集結果について
- (2). 第五中学校改築基本計画（案）について

2. 報告事項

今後の予定について

◎事務局挨拶

◎議事(1) 第五中学校改築基本計画素案への意見募集結果について

○座長 本日はお集まりいただきまして、ありがとうございます。

本日、終了が正午の予定でございますが、議事が早く終わるようでしたら、少し早く終わることもあるかもしれないと事務局から言われております。

それでは早速、議事(1) 第五中学校改築基本計画素案への意見募集結果及び(2) 第五中学校改築基本計画(案)について、合わせて事務局よりご説明をお願いします。

○事務局 資料1の第五中学校改築基本計画(案)24ページをご覧ください。素案に対する意見と取扱方針です。

今回の意見募集の結果について、第五中学校と第一中学校をまとめたものです。

募集期間は、11月13日(金)～27日(金)、対象は、第五中学校学区内の在住者の方と、第五中学校・第五小学校・関前南小学校の教職員を対象に実施しました。結果の欄をご覧ください。意見者数は、第一中学校・第五中学校説明会でのご意見を含めて、全部で65名、意見件数は、説明会での意見等、意見募集対象外の方からのご意見も含めまして、128件です。対象外というのは、第五中学校学区外にお住まいの方です。4名の方からご意見を頂いています。

それでは、25ページから具体的にご意見の紹介をさせていただきます。まず、一点目は、少人数学級を見通したゆとりのある教室の設置等のご要望についてです。番号は、9番・10番・11番です。「少人数学級の動向を見ながら、対応を検討する。」という文が入りよかったですと思います。仮校舎の段階で、校舎が少人数学級になるの見通した配置でお願いします。改築後の利用について、60年先まで見通すことは難しいでしょうが、日本の学校が今のような40人学級であり続けることはないでしょう。ということで、ゆとりある教室の確保をお願いしたいというようなご意見を頂きました。

取扱方針としましては、国や東京都の方針が決定した際に、すみやかに対応できるように動向を注視していきますとご回答させていただきましたが、令和2年12月17日

(木)に文部科学大臣より、小学校については2021年度から2025年度にかけて、段階的に35人学級を実施していくという発表がございましたので、これから設計の中で反映させていただきます。

また、中学校は、文部科学大臣からも、少人数化の必要があり、努力を続けたいというようなお話がありましたが、現段階では、具体的な方針は出ていない状況です。しかし、事務局としては、今までの懇談会の中でご説明をさせていただいたとおり、共用スペースに余裕を持っていること、生徒数が今後しばらく増えるものの、その後減るということも踏まえて、これからどうしていくのか、教育委員会の中で議論をしていきたいと考えてお

ります。

次に、二点目としまして、プールについてです。21番・22番・23番です。目隠しを設けている等でいろいろ工夫されるということで安心した。プールについては、体育館の屋上に設置するという事は難しいのですか。また、体育館を地下に設置することは難しいのですか。かつて第五中のプールには開閉式の屋根が設置されており、魅力的だった。新しいプールでは屋根の設置想定はありますか、というご意見を頂きました。

プールの屋根につきましては、設置をしないという方向で、検討しています。ただし、隣地に大きなマンションがございますので、目隠しとして上から見えないような設えを検討します。

続きまして、ナイター設備の新設の可能性についてということで、番号は24番・25番です。第一中学校には、現在ナイター設備がついております。第五中学校はついておりませんが、これから部活動等があるので、つけて欲しいというご意見を頂きました。しかし、近隣の皆様への影響も鑑みますと、照明をつけるかどうかはすぐに決定できないという状況なので、現段階では照明を設置することは想定しておりません、と回答しております。

続きまして、仮設校舎の温熱環境、バリアフリー等の使用についてです。27番の仮設校舎がバリアフリー対応になるのかというご意見に対して、仮設校舎にもバリアフリー新法が適用となりますので、エレベーター設置を含め、バリアフリー対応としますと回答しております。

さらに、47番・48番で、仮設校舎に対し、ご意見を頂きました。可能な限り、仮設校舎は快適に過ごせる空間としてほしい。仮設校舎には、冷暖房についても完備されるという認識でよろしいか、というご意見です。仮設校舎も改築後の校舎と同程度の快適性を確保できるよう、仮設校舎の設計の際にはしっかりと検討していきたく思っております。また、冷暖房につきましては、各居室には完備する予定です。

次に、51番から54番までは、工事中の騒音及び振動対策についてご意見を頂きました。解体の騒音について、工事側の窓は防音性能と聞いたが、他の窓はどうなるか。また、振動についてはどうか。仮設校舎を建設する時の騒音はどうか。仮設校舎の建設、既存校舎の解体、新校舎の建設が中学校3年生までに重なるため、学習をするうえで、具体的な騒音対策を考えているか心配だというご意見を頂いています。

54番でも、改築工事中の騒音についてご意見を頂いています。まず騒音対策につきましては、仮設校舎の工事現場に面している方の窓につきましては、防音性をもったサッシを設置する方向で検討をしています。また、振動について、上屋部分は基本的に重機でコンクリートを噛み砕いていくという工法をとりますので、それほど大きな振動はでないという認識しております。ただし、基礎を解体するときは、一定振動がどうしても出てしまうので、学校生活に支障が出ないように配慮していきたいと思っています。学校で子ども達が授業をしている中での工事になりますので、きちんと学校生活に支障のないような施工計

画を立てていきます。

さらに、仮設校舎を建設する時の音についてご意見を頂いています。基本的に仮設校舎は鉄骨造です。3階建てになりますので、クレーンを使って鉄骨を組み立てていきます。鉄筋コンクリート造と違って、コンクリートを流すという作業がないので、基本的にはそれほど大きな音は出ないと思っています。ただし、鉄骨を組み立てていくときに、ボルトを止める音や、トンカチ、内装材を仕上げたりする音は出ますが、なるべく防音対策をして施工を進めていきます。

また、基礎の部分は鉄筋コンクリート造になります。その部分については、生コン車、ポンプ車が入ってきますので、音は出るとは思いますが、極力、授業に支障のないようなかたちを検討していきます。工事に使う、工事車両の関係につきましては、低騒音型の機械を使用するよう対策を講じていきたいと思っています。

解体工事につきましては、一般的に防音パネルというものを設置します。このような対策も含めて対応をしていきたいと思っています。

続きまして、56番・57番、小中同居時の安全性等について多くのご意見を頂きました。小学生も仮校舎を使用し、同じ敷地内で学校生活を送るようになった際の校舎内の動線を十分に検討しておくことが大事だと思う。同じ門を使うことになるのか。それから、小学校と中学校が共存する期間、校庭は共用できるのか。小学校は各学級週3時間体育の時間の割り当てが取れるのか、というようなご意見です。まず、第五中学校については、小学生と中学生が同居する際、校舎と体育館は、それぞれ別の場所を使用しますので、問題ないと思っています。ただし、校庭とプールには、一緒に使わなければならないので、配慮が必要になってくると思います。

まず、校庭の使用につきましては、小学生は中休み、昼休み、それから学童・あそべえでは、校庭で遊ぶ時間があります。中学生については、特に部活動です。授業が終わった後に、部活動で校庭を使うので、学校ともこれから協議をしていこうと思っています。時間や曜日をずらす等、ソフト面での対応をしていただく必要があると思っています。

プールについても、小学生と中学生では身長差がかなりありますので、プール水位に差が出てきてしまいます。そこについては、前半を小学生、後半を中学生というように、水位を調整したり、小学生用にプール内に、高さ調整のパネルを沈めるというようなことも、考えなければならないと思っています。

そして、60番・61番・62番、こちらも、同居時の安全性についてです。第一中学校と井之頭小学校なのですが、令和7年度から、合わせて1000人を超える児童・生徒数になるということで、かなり危ないのでは、というご意見を頂いています。62番のプールにつきましては、先ほど申し上げたとおりです。

続いて、小学生の通学距離が長くなることによる安全性の確保、交通手段、越境通学等について、64番・65番・66番です。64番・65番が第一中学校のご意見ですが、通学に関して、通学の距離が非常に長くなるということで、安全に通えるのか、ということです。

御殿山一丁目の方の一番遠いお子様で、約 1.8 キロございます。小学校 1、2 年生の低学年の歩行速度ですと、まっすぐ歩いても 30 分から 35 分かかるというシミュレーションをしているところなので、非常に厳しいという状況は、事務局でも把握しています。

次に、66 番、西久保 3 丁目の三鷹通り沿いから第五中学校への通学は、低学年の子どもが歩いて通うには距離が長すぎる。通学路として安全性が不十分だ。越境通学を柔軟に検討してください。というようなご意見を頂きました。越境通学については、現在武蔵野市全体で子どもが増えているため、特に小学校では施設の余裕がなく、改築の影響を理由とする指定校以外の通学を認めることができないという状況です。

また、武蔵野市の小学校では、1、2 年生は、既に 35 人学級になっています。来年、再来年度から、小学校 3 年生が順次少人数学級になってくるということで、既存校舎についても、一定教室数が増えてくるという想定もございます。そのため、越境通学は、難しいと考えています。

次に、83 番、屋上利用の可能性についてです。屋上の有効な使い方はあるのか、というご意見です。既に屋上に設置することが決まっているものは、太陽光パネル、屋上緑化です。これは東京都の条例で定められているものですが、これらが、既に屋上を使う要素となっています。それ以外で、もし屋上スペースが確保できるということであれば、もちろん安全性が確実なものでなければなりません、学校と協議をしたうえで、検討していきたいと思っています。

続いて、教職員の方からは、大きく二点ご意見を頂いています。井之頭小学校の児童の距離が長くなることについて、小中同居時の校庭利用、通学時の安全性についてです。

38 ページ、39 ページをご覧ください。こちらについては、参考意見というかたちで、載せております。今回、対象の地域外にお住まいの方から頂いたご意見なのですが、こちらに意見要旨ということでまとめました。主なご意見としては、やはり少人数学級について、それと体育館の重層化についてです。体育館を 2 階建て、地下化等できないかというご意見と、テニスコートは不要と考えるが、必ず造らなければなりませんかというご意見を頂いています。以上がご意見の紹介です。

続きまして、資料 1、武蔵野市立第五中学校改築基本計画（案）について、前回の素案の部分から変更になった部分をご説明します。

まず、最初の 1 ページをご覧ください。(1) 背景について、アンダーラインを入れております。2 段落目、教育委員会では、平成 26 (2014) 年度に新たな教育課題、適正規模、公共施設として学校に求められる機能等について検討をし、『武蔵野市学校施設整備基本方針』として、まとめました。さらに、その方針に基づき、学校施設の更新を着実かつ計画的に実施できるよう検討を重ね、という文を追記しました。今年に至るまで、年月を重ねて学校改築についての検討行ってきたということを、改めて記載しました。

それと、3 段落目の「そして」の後について、素案では、一中・五中のそれぞれの学校名しか記載していなかったのですが、一中・五中の 2 校に着手していることが分かるよう

に、第五中学校及び第一中学校の改築に着手することとし、という表記にしました。

続きまして、(2)目的の下の3段落目です。また、全体計画に基づき、第五中の次に武蔵野市立第五小学校を改築する予定です。第五小の改築にあたっては、第五小が第五中の校地に仮移転する必要があるため、第五小改築事業と、第五中の関連及び、現時点で想定される影響等についても整備します、ということで、小学校への影響を明確にするために追記しました。

続きまして、3ページをご覧ください。(3)の生徒数・学級数の推移(予測)の上から三行目、第五中の生徒数(※)のところです。グラフの下に、注意書きを入れました。生徒数の推計は、第五中の学区域内対象年齢の人口に、第五中への通学状況を反映させていることを追記しました。

続きまして、9ページをご覧ください。整備方針の④バリアフリー・ユニバーサルデザインの上から三つ目です。性同一性障害への対応という書き方をしていましたが、ここを、多様な性のあり方への対応と変更しました。

続きまして、(2)の防犯対策、安全対策の二つ目です。正門の電気錠と書いてあったのですが、電気錠につきましては、正門に限らず電気錠が設置できる門扉については、設置を検討しますので、門扉という表記に変更しました。

続きまして、10ページ、(4)の避難所の下から四つ目です。防災鍋と表記していましたが、武蔵野市防災課から、一般的には炊き出し釜と言うと意見をもらいましたので、炊き出し釜と変更しました。

続きまして、17ページをご覧ください。ここは、大きな追加になります。素案では、第5章までの構成でしたが、第6章を追加しました。

第五小改築との関連についてです。第五中の新校舎、新体育館が完成した後、第五中改築事業で設置した仮設校舎を、第五小改築事業の仮設校舎として使用します。このため、第五小改築事業の工事期間、令和7年度～令和9年度の間、第五小は第五中の校地に仮移転する必要があります。(1)は、仮移転の理由についてです。小学校の校地が狭いことから、工事期間中の校庭の確保が困難なため、仮移転の必要があります。

それと、(2)仮移転により想定される影響として、小学生の通学距離が延びること、通学路の変更が発生すること、中学校の敷地に小学生と中学生が共存する際の、施設使用の調整の必要について、記載しました。わかりやすいように、航空写真を入れました。校庭の部分に仮設校舎を造りますと、校庭がほとんど確保できないということが、この写真でご理解いただけたと思います。

さらに、左下に地図を入れておりますが、実線が第五小の学区域を示しています。右側に文化会館と書いてあるところがございますが、この一番角、ちょうど中央通りがクランクしている所が一番遠い所になります。第五小が一番遠いお子様で、第五中学校までの距離が約1.5キロということで、小学校1、2年生の歩行速度、1分間60m程度と仮定しますと、20分から25分かかるという想定です。また、第五中に向かうにあたって、伏見通

りという大通りがございますので、ここの安全性をどう担保するのかということが一番の課題になるかと思っています。

続きまして、18 ページをご覧ください。こちらの表は、説明会の時に、お配りした資料で見やすいというご意見を頂きましたので、この計画にも載せています。

まず、横軸に年度、年度の下に第五中学校と第五小学校の工事の時期を黄色で示しています。縦軸には、2020 年度のお子様の、学年もしくは年齢を入れています。この表で、ご自身のお子様の年齢をあてていただきますと、どのような影響があるのかがわかるようになっていきます。そして、五中については、五小と工事がセットということで、かなり長い期間にわたり影響が出るということになります。

例えば、現在の小学 5 年生につきましては、中学 1 年生から中学校生活 3 年間、仮設校舎での生活となります。中 1 の時には、既存校舎の解体工事、中 2、中 3 の時には、本体の建設工事をやっているという状況です。それから、4 歳児のところをご覧くださいと思いますが、現在 4 歳児のお子様については、小学 4 年生か小学 6 年生の 3 年間について、第五中学校の方の仮設校舎に通うこととなります。中学校の敷地で、中学生と同居する 3 年間になります。そして、中学生になると、新校舎、新体育館が使えるのですが、まだ外構工事等が終わっていないので、それらの工事の影響を受けます。

続きまして、57 ページ、58 ページをご覧ください。資料 8 として、敷地周辺状況図を入れました。こちらは過去に、懇談会の中でご紹介をさせていただいたかと思います。基本計画（案）の中に、五中の中身についてはご紹介していますが、外回り・周辺の道路等の状況が、わかりませんでしたので、資料として入れさせていただきました。説明は以上です。

○座長 それでは、ただいまの事務局の説明について、ご意見ご質問がありましたらお願いします。

○委員 次第、議事の（1）、（2）まで進んだという理解でよろしいですか。

三点確認をしたいと思っております。一点目が、取り壊し工事に関するアスベストの問題です。おそらく、過去何回か社会問題になっていて、問題は確認済みだと思うのですが、やはり昭和 16 年以降、昭和 50 年頃まで、アスベストが使われている建築物がかなり多いということで、確認できていないアスベストがある可能性もあって、やはり子ども達、あと近隣の方も多く住んでいる場所ですので、まず、その確認をしっかりと一度行っていただきたいというのが一つです。

二点目が、交通安全に関してで、先ほどもご説明の中で、伏見通りとか新武蔵境通り、正確に言うと、調布保谷線だと思うのですが、こちらが今年に入って、制限速度が 50 キロに突如引き上げられたと思います。元々制限速度が 40 キロで 20 年以上運用されていたかと思いますが、50 キロに突如引き上げられ、前後に接続された道路が 60 キロ制限で運用されているということで、大変スピードを出してくるドライバーが多いようです。トラックも、信号が変わっても突っ込んでくるということで、五中の正門側にある

道路の交差点も今大変危険な状態ですし、先ほどの地図で紹介いただいた井ノ頭通りとの交差点の交通量も大変多くなっています。子ども達の安全、中学生であっても大変危ないと思いますが、特に小学生が何年間か通うこととなります。そういったものをぜひ、安全に配慮いただきたいと思います。

ただし、歩道橋を架けるというのはすごく雑なやり方で、全然、子ども達の命を守れないと思っています。同時に近隣住民からすると景観上も、反対したいと思っています。個人的に警視庁並びに、武蔵野警察署に問合せたことがあります。そこは、交通の信号をうまくコントロールいただいて、安全な速度で走行するように引き続きご配慮いただきたいという意見です。

最後に三点目が、配置について、蒸し返して恐縮なのですが、武蔵野市立第五中学校改築基本計画（案）の22ページ目に、この委員のメンバーの名前が載っていて、私は下から4つ目のところに第五小学校児童・保護者となっています。もともと私が応募した時は、第五中学校生徒保護者並びに、第五小学校児童・保護者ということで応募しているので、ぜひ、第五中学校生徒保護者というのを併記いただきたいです。結局、第五中学校の生徒の利益を守ることは我々の仕事だと思っています。そういった中で、今回、一般の意見募集の中でもいくつかみられましたけれども、テニスコートのために日影ができてしまう、体育館が校舎の目の前にドンときてしまう、という前回議題としてものぼりましたけれども、これを是として通すというのは、たぶん50年、60年生徒達が通うことを考えると、言葉を選ばなければ無念だと思います。

どういうことかと言いますと、14ページにも配置図がありますが、例えば、もうすぐ冬至です。冬至の日の出というのは、東方向に向かって30度程度、右下、時計の針でいえば4時過ぎくらいです。日が朝上ってきて、南側の低いところを通過して沈んでいくということで、新体育館が新校舎の4割くらいに影を落とす。時間帯によっては、ずっと落としてしまうということになりますので、やはり新体育館の場所というのはこのままでは50年、60年通う生徒にとって、日影を作ってしまうと思います。もともと、この地図でいうと右上に広場があって、今体育館がありますけれども、物差しで測ってみると、新体育館は、今のものより一回り大きく見えます。もし、この大きいものを入れようとした時に、南北方向に、縦方向に新体育館をはめれば、しっかり新校舎より出っ張らずに造ることができるという状況だと思います。ですので、これだけ大きな敷地があるにも関わらず、新校舎の目の前に、突如として、日影の大きな新体育館が現れてしまうという設計案は、予定調和をすべきなのかもしれませんが、反対をしたいと思っています。前回もこの部分、何度も申し上げたとおり、再考すべきだと思います。

テニスコートは、テニス部がありますので、必要性は理解しています。テニスコートも、たとえば西門の方に縦長に2面置けば、グラウンドももっと広くとれますし、新体育館も今ある場所に、周辺との関係を変えずに、置くことができると思います。なので、ここはもう一度、市としても、強く再考いただきたいとお願いしたいと思っています。

○事務局 まず一点目、アスベストは、既に調査を実施し、アスベストがあることを確認しています。ですので、解体工事に入る前に、アスベストの除去作業を行います。養生をし、外に飛散しない形での撤去を専門業者にやっていただきます。その後、本体の解体工事という流れです。

続きまして、二点目の交通安全は、やはり事務局といたしましても、井ノ頭通り、伏見通りについては危険があるということは認識しておりますので、保護者の皆様のご協力もいただかなければならないのですが、警察にも協力を依頼して、一層の安全確保に努めていきたいと考えています。

そして、三点目の配置についてです。配置は、基本的に、改築懇談会や近隣の皆様からご意見を頂いて、この案になっていますので、これを大きく変えるということは難しいと思っております。ただ、委員がおっしゃるとおり、新校舎に対して、体育館の日影が落ちるといことは懸念されますので、来年度以降の基本設計・実施設計の中でどれだけ、対応できるのかということを考えながら、新校舎の方に極力日影を落とさない、または、日影が落ちててもそこは教室ではないというようにいろいろな面に対応できるように設計を進めていきたいと考えております。

○委員 ありがとうございます。交通安全については、まさにおっしゃるとおりで、私も、その関前南小が既に学区として、調布保谷線を横断している状況ですので、そこは警視庁並びに、武蔵野警察署も、しっかり対応をいただいていると理解していますが、引き続きご配慮いただければと思います。

やはり、校舎の件ですが、前回の懇談会はやはりバタバタ感がすごかったと思います。その経緯は存じ上げませんが、体育館があった場所にテニスコートを造る配置案については、近隣の方から苦情が来たのかわかりませんが、そこはやめようとなったところまでは理解しています。かといってこれだけ大きな敷地を確保しながら、新体育館が新校舎の南側に塞がっているという状況で、「いろいろ工夫します」と言ったところで日影は防げないと思います。ですので、例えばですけれども、新体育館、今の場所に、どうしてもこの修正案に置きたいということであれば、縦方向に体育館をもって行って、なるべく新校舎にかからない。元々の案に近くなるのですが、その代わりテニスコートを、半減させるとか折衷案があると思います。あまりにも、広場の場所にテニスコートを置けなくなったが故にバタバタで、この新体育館が、日影を作ってしまうというのは、本当に大変残念ですしもっと知恵を絞るべきだと思います。

絞り方としては、今申し上げたように、その広場の場所に、もともと体育館が今も建っておりますので、体育館を改築する際に、縦方向に伸ばして造るとか、どうしてもこの修正案で進めたいということであれば、新体育館と書いてある場所を、新体育館を縦方向に使って、井ノ頭通り側のテニスコートを縦長というか道路に沿って確保するとか、いくらでも折衷案はあると思います。このままいってしまうと、半年くらい検討してきたのが、正直残念ですし、これだけ集まって、五中の生徒、将来入ってくる子ども達のことを

考えると、こんな日影の教室かと。先生方もはっきりいって、こんな日影で、ちょっと残念だと思います。体育館があるとだいたい昔から、暗いイメージがあって、本当にそういう場所に、新校舎がきていいのかということは一丁目一番地の議題として議論しなきゃいけないですし、既に周知したから、うまくやりますよと言われても、本当にうまくやっていただけますか。この配置図で通していいのですか、というふうに私は思います。

この予定調和すべき回だと思いますが、前回の話からきていますので、ここで強く申し上げたいと思います。

○事務局 新体育館の件についてのご意見は、理解しました。これから設計者が入ってきますので、向きを変えるなどの対応ができるか、整理をしながら設計を進めていきたいと思えます。

また、アスベストに関しては、法令が年々厳しくなっていて、微量であっても、撤去方法に関して、かなり厳しい規制がかかっています。どこの学校も古いので、一定アスベストはあるという認識でいます。きちんと調査をした結果に基づいて、安全な方法、絶対に外に飛散させないという養生をして、撤去を進めていきますので、ご安心いただければと思います。

○委員 私は、意見というよりも、今の委員さんの意見に大賛成で、修正案で、前の図面では三角だったところが四角になっただけで、あんまり変わらないような気がしています。これから何十年と使うとなった時に、出っ張っていて、見た目にも非常に悪いと思うし、使い勝手も悪いなど。使い勝手というよりも、日影の問題も、委員さんのおっしゃるとおりだと思うので、この位置については、もう一度、検討していただきたいと思えます。

○事務局 今頂いたご意見も、体育館の向きを変えて、日影がうまく新校舎を外せるかどうかということも、これから新たな建物に対して日影図等を描きながら検討していかなければいけません。なるべく新校舎に影響がないように体育館の影が、新校舎に落ちないように、設計の中で整理をしながら進めていきたいと思えます。

○委員 先ほどのご意見ですけれども、体育館で新校舎に日影が落ちることは、確かに心配だと思います。例えば、新テニスコートを新体育館の屋上に持つていくことができれば、この新体育館の方向を変えるということも可能だと思います。

ただ、一般開放しているということであれば、屋上にテニスコートを持つてくるというのは、部活では支障がないかもしれませんが、一般の開放が難しくなるということで、やはりテニスコートはグラウンド、地面に置いた方が、使い勝手が良いのではないかと思います。

それから、日照というか、光の取り入れ方に関してですが、開口部、窓が大きくなれば当然、冷暖房の効率が悪くなります。それから、普段学校に行つて思うのですが、夏場は特に、日差しが厳しくて、カーテンを閉めているということが結構あります。例えば、五小は、日差しが眩しくて、細かいものが見えないので、わざわざカーテンをかけているこ

とが多くあります。

なので、光をうまく使うということをぜひ、設計段階で考えていただければと思います。光がたくさん入ってくるというのは、メリットもありますけれども、デメリットにもなるので、その辺もよく考えて、設計していただければと思います。

○事務局 テニスコートの屋上設置の件でございますが、今、おっしゃったとおり、一般開放で使用率が高いので、なかなか屋上に乗せるというのは使い勝手上、よろしくないという点もございます。同時に、まず第五中学校の用途地域が、第一種低層住居専用地域という、住環境を一番厳しく守る地域になっておりますので、屋上テニスコートを設置し、網で囲むようなことは、法的になかなか難しいということがございます。

それと、二点目の日影の件ですが、以前懇談会の中でもご説明をしましたが、私立の学校なんかは、最近では南側に教室を持っていくと太陽光の反射等で、授業がしづらいということがあって、逆に北側に持っていくということも多いと聞いています。

また、照明がLED化されて、かなり部屋の中が明るくなっているということも含めて、必ずしも南面に普通教室がなくても良いというのが、最近の流れのようです。

ただし、この第五中学校につきましては、設計に入っておりませんので、南側に教室を持ってくるのか、特別教室を持ってくるのか等は、まだ具体的には決まっておりません。

そういった日影の問題、日照の問題等々を総合的に勘案した上で、教室の配置等、レイアウトをしていきたいと思っています。

○委員 先ほどもご説明がありましたアスベストに関しまして、近隣住民に対する情報公開を、より良い方向でぜひご検討いただき、実行していただければと思います。

○事務局 アスベストにつきましては、皆様大変気にされると思いますので、工事説明会を実施し、その中で説明する予定です。

あとは、工事する時に、敷地境界に仮囲いという塀を設けます。そこに、今、何をやっているのか、アスベストの撤去工事をしているのであれば、アスベストの撤去している、こういったアスベストがあるのか、という表示が義務付けられていますので、そのような形でもきちんと周知をしていきたいと考えております。

○委員 テニスコートってすごく場所を取るなというのを、いろんな図を見ていて思っていました。それで、ちょっと分からないのですが、以前から、新プールの位置から南がデッドスペースで、使えない場所になっていて、昔はそこにバレーボールコートがあって、そこでよくやったりしていたのですが、こういうところをうまく使えていない。保存樹木があるというのは初めて知りました。体育館や校庭を調整して、活用できないのかなと思いました。

それから、交通の安全については、五小は西久保の端っこにあって、そこから五中の動線を考えた時に、新しい道だけではなくて、商店街から、五小前通りですね。あの辺りに、わかりづらい信号があります。どうやって渡っていいのかという、自転車とかもすごく交差しているので、それも念頭に入れていただきたいなと思います。

○事務局 今、委員がおっしゃられたとおり、テニスコートはかなり面積が大きくて、校庭に設置するとなると、かなりのスペースをとるとというのが現状です。

今、プールの南側があまり使われていないというご意見を頂きましたが、まだ設計に入っていないので、校庭の使い方もまだ具体的になっていません。逆に、野球部のホームベースをこっち側に持ってくるというのを今考えていたりします。なので、その使い方については、これから設計の中で、もったいないスペースがない形で、設計を進めていきたいと思っています。

特に広場は、子ども達の憩いの場ということも考えておりますので、一体的に何か使い方が何か考えられないかなど、設計の中で考えていきたいと思えます。

それと、交通の安全の件につきましては、確かに、大通りだけではなく、西久保地域についてはそれなりに車、交通量もありますし、おっしゃった交差点は、信号が非常にわかりにくいという状況で、危険が伴うと思えます。なので、通学路については、学校とも改めて協議をさせていただき、危険箇所については、人に立ってもらう、地域の皆様にご協力をいただいたり、外部委託する等を視野に入れて、子ども達の安全については、第一に考えていきたいと思えます。

○委員 この回であまり話してなかったかもしれませんが、質問です。

武蔵野市立第五中学校改築基本計画（案）28 ページ、24 番のナイター照明についてです。一中の方は現在ナイター照明が設置されていて、五中の方は、近隣への影響もあるので、想定していないというお話だったのですが、一中と五中でどこか違いや、何か問題があるのかなというのがあります。ナイター照明があれば、素晴らしいと思えます。なぜ五中は設置しないのか、教えていただければと思えます。ゴルフの打ちっぱなしもありますし、近隣としてはマンション、道路、浄水場なので、気になりました。

○事務局 第一中学校のナイター設備の設置をした時の経緯というのは、大変恐縮ですが存じ上げておりません。

第一中学校については、そのまま、ナイター設備を残すということで、考えています。

第五中学校については、学校にあると便利だというのは、一定理解しておりますが、やはり近隣の皆様からすると、なかなかご理解が頂けないというのがございます。他の場所でも、ナイター照明を付けてほしいというようなご意見が市内にございますが、この改築においては、新たに照明設備をつけるということは考えていない状況です。

○委員 五中しか知らないものですから、一中にナイター設備があると知らなかったです。そういった話自体、想像すらしていなかったのですが、あったらいいなという気がします。近隣のご理解も、わからないこともあったりするので、検討というか、これは改築じゃないのかもしれませんが、ナイター照明があったらいいということを、周知したらいいと思えます。

○委員 今のナイター設備の件ですけれども、現実に使っているかどうかはわかりませんが、現在、スポットライトのような設備はあるように思えます。

それから、近隣住民ということを言われても、いま委員が言われたように、住環境としては、東側にマンション、南側は道路、西側はゴルフ練習場、北側は校舎になっている。このように考えると、近隣住民の方を意識した設置方法というのものではないかと思うのですが、近隣住民が最初から「だめ！」って決めないで、委員が言われるように、これから60年の話ですよ。いろいろ環境は変わるし、できたら、話を一度してみるの一手だと思います。こういう方向でなるけどどうだ、というのを住民の方に聞かれるのも一つの方法ではないのかなと思います。

あと、防災の面から考えますと、太陽光パネルも今後設置され、最悪の時でも少しは明かりが採れるというのは大事なことだと思うので、ぜひご検討いただければと思います。

○事務局 現段階では先ほど申し上げたとおりですが、やはり近隣の皆様にとっては、明かりの問題だけではなく、夜間まで使うということは、声の問題、音の問題も出てまいりますので、なかなか難しい問題だと事務局側では認識しているところです。しかし、こういったお話を頂いたということで、持ち帰らせていただければと思います。

○座長 今の夜間照明、ナイター等について、学校の現状をお伝えしたいと思います。

まず、夜間照明についてですけれども、第一中学校にあるような全体が明るくなるような照明はございません。第五中学校の場合は、生徒昇降口付近に、一つ大きな照明がついておりますので、昇降口付近、校庭の校舎側あたりが少し明るくなっているっていう程度です。テニスコートについては、実際に、あのスポットライト的な照明を独自に用意して、それを使って少し明るくしているという現状です。ですから、常設のものがあるわけではないです。

今、冬場になりますと、だいたい17時くらいになると暗くなります。現状、外の部活動は、サッカー部とラグビー部と硬式テニス、この三つになりますが、だいたい17時くらいになると真っ暗になる中で、校舎側に近いところにある照明を使いながら、できる範囲で活動をしているといったところです。多くは18時過ぎくらいまで、活動ができればというようなイメージではおりますが、正直かなり暗い中での活動になっているのは否めません。新たに照明をつけるのは、なかなか厳しい現状であったとしても、現状ある校舎側の付近だけ明るいような形になりますので、例えば校庭半分くらいまで、全体が明るい状態じゃなくても結構ですので、とにかく半分ぐらまでは、校舎側だけは明るいとか、テニスコートの方にも、それなりに光が当たるような形を考えていただけると有難いかなというのが正直な気持ちです。

ただ、一中のような完全な照明をした場合には、たぶん夜間開放とかそういった希望が出てくる中で、それらの擦り合わせも大変になるイメージがあります。

○委員 先ほどの、武蔵野市立第五中学校改築基本計画（案）34ページ69番で、一中には小ホールの設置があるというのをここで初めて知りました。千川小学校にはふれあいホールが、大野田小学校にはけやきホールが、このように設置されている学校とされていない学校には、どういう差があるのですか。

○事務局 このご意見については、おそらく勘違いをされていると思います。改築する学校に、ホールを造る予定はありません。第一中学校には音楽室棟がございますので、そのことをおっしゃっていると思います。なので、ここは、一中に造って、五中に造らないというようなことはございません。これから造る学校はみんな同じ仕様にしていきます。

ただし、ラーニングコモンズや、発表する場ということで、そのようなホールのものが造れるかというのは、今後設計の中で具体的に考えていきたいと思います。

○座長 今、ホールのなものですけれども現状、本校で言いますと、全校生徒が集まるのは体育館になります。第一視聴覚室くらいのあのサイズですと、一学年が集まるイメージで使っております。少なくとも、普通教室一つ分ですと学年全体では集まれませんので、できたら、保護者会等で使えるような場所として、少し広めの場所というのが必要になりますので、そういった意味では、ここにある、プレゼンテーションの場として利用しやすいような、というのは大事になると思います。ぜひご検討いただければと思っております。

○委員 工事に伴って大型車両が入ると思いますが、この大型車両の動線はどこから入るのか考えていますか。

○事務局 今年度、作成しましたこの基本計画（案）につきましては、目的のとおり、今回の学校施設の規模、配置、スケジュール等を検討するものですので、具体的な工事に関する事項については、まだ検討はしておりません。ただし、北側の門から入るとするのは、道路も狭いので、南側から、井ノ頭通り沿いから、入れざるを得ないという状況でございます。これから設計をして、施工者が決まっていまして、具体的な施工計画の中で、工事車両の経路等も、決定して参ります。近隣の皆様に、危険が及ばないような計画をきちんと立てていきたいと思っております。また、近隣説明会や工事説明会等を開催いたしますが、その時には、明確になったかたちでご提示できればと思っております。

○座長 ただ今の南門のところですけども、実は交通安全で、生徒が気を遣うような場合、現状南門のところは、歩道がそれほど広くなく、結構、自転車で行き帰りしています。ちょうど南門のところの歩道のど真ん中に、大きな木が1本あり、その木の存在というのが、工事車両を入れる時に結構厳しい状況になる気がします。そうすると、南門の位置とは別のところに、門をまた設置することになるのか、というところがあると思えます。いずれにしても将来的に、あそこの大きな木が真ん中に立っているというところから、自転車が左右に分かれて、危ない現状もあるので、校舎、校地から飛び出すこともあるからお気を付けくださいというような表示もさせてもらっています。また後々ご検討いただければと思っております。

○委員 非常に蛇足的なところではありますが、3ページ目の生徒数・学級数の推計に推移と予測とありますが、この表を出すのであれば、ベースになっているのは武蔵野市の人口だと思えます。その推計があって、五中への通学率というものを使って出されていると

思います。

なので、今回の趣旨とは違うかもしれませんが、できれば両方入れていただいたほうが、分かりやすいし、武蔵野市の人口が変わることを、皆さんにもお知らせする意味もあるので、両方お使いになられたらどうかというふうに思います。

○事務局 市内全体の人口ということですか。

○委員 学区内の人口がこう推移します。通学率がいくらだから、という両方を数字としても出されたほうが、読みやすいし、状況が理解できるのではないのかと思います。

○座長 実際の数値ですとか、例えばこの平均通学率がいくらだとか、その辺も書いていただきたいというご意見でしょうか。

○事務局 すぐに即答できませんので、預からせていただいて、検討させていただきます。

○委員 先ほどの音楽ホールの件と、もう一つ、デザイン性についての確認です。音楽ホールについては市の資料でも、第一中学校の特徴を生かした整備方針の中に、音楽ホールを残した設計ということで書かれていますので、たぶん音楽ホールを造られると思います。ラーニングコモンズという形で使い方の用途が変わるかもしれないですが、ある程度一定の、第五中学校に通いたいと生徒達が憧れるような、スペースというものもぜひ造っていただきたいです。

特に、第五中学校の部活動がどんどん減ってきた中でも、演劇部はまだ頑張っていてありますし、割とそこに最近男子学生が入ったようです。そういう意味では、多様な表現の場ってというのはすごく大事なのかなと思います。特別学級も併設されるということですので、そういった意味では、コミュニケーションや、支援をしっかりとできるような対応をしていただきたいと思います。

もう一つは、デザイン性についてです。設計が今回急遽変わるかもしれない中で、1階の正門部分の入ったところからスペースがけっこう出っ張った形になってくると思いますが、面構えとかそこを工夫していただきたいと思います。例えば、クリーンセンターは、大変いいデザインだと思います。武蔵野市らしい良い施設を造っていただいたのかなと思っているのですけれども。

これから各中学校、小学校を建て替えていく中で、その時にお金を倍にしてくださいということはないのですが、面構えとかその正面のところとか、多少そのデザイン等については、配慮いただいて、良い設計を取り入れていただければと思います。特に、木を使ったアイデアがあったと思いますが、そういったところを、若干のお金をかけていただければと思います。お金とか知恵をかけていただければと思います。

○事務局 第一中学校の音楽ホールは、まだ築年数も浅いので、そのまま残します。

第五中学校につきましては、演劇部があるということで、過去にも懇談会の中でご意見を頂いておりましたので、34 ページ 69 番の取扱い方針のところ、演劇の発表の場として利用しやすい設えを工夫しますと書いています。演劇部については、11 ページの(7)の第五中の特徴を活かした整備方針というところにもありますが、「ポスターセッション及

び演劇部の発表の場として利用しやすい設えを工夫します」ということで、工夫をしたいと思います。

それとデザイン性については、おっしゃったとおり、学校の顔になる部分だと思います。北側の正門については、設計の中で良いものを造っていきたいと思います。今年度、今後のプロポーザルを実施して、一中・五中の設計者を今年度中に選定をします。来年度早々に、設計に着手するという流れになりますが、2校同時に設計をしなくてはならないので、総合力のある事務所にデザイン性も含めた設計を進めてもらいたいと考えております。

◎報告事項 今後の予定について

○座長 それでは次に「報告事項 今後の予定について」事務局より、報告をお願いします。

○事務局 まず、資料3をご覧ください。上からご説明をさせていただきますが、12月11日（金）に、設計者選定の公募型プロポーザルを行うことを公表しました。ですので、これから、申し込みがあると考えています。

そして本日、第6回改築懇談会ということで、この計画案について皆様にご確認をいただいているところです。令和3年1月6日（水）の教育委員会定例会で、議決をいただく予定です。そこで議決いただきましたら、1月8日（金）に武蔵野市立第五中学校改築基本計画としまして、市のホームページに掲載を予定しています。

続きまして、設計のプロポーザルは、1月末に一次審査を予定しています。その後、3月29日（月）に二次審査で優先交渉権者の方を選定し、3月31日（水）に結果の公表を予定しています。今年度は以上で、来年度から基本設計・実施設計という流れになります。

そして来年度につきましては、2回程度、この懇談会の開催を予定しております。年度が変わりますので、団体の皆様の役員の、改正等行われるかもしれませんが、各団体から出られている委員の皆様におかれましては、来年度の懇談会の開催の前に、もし変わられましたら、引き継ぎ等をいただいて、委員の継続についてもお伺いする予定です。

○座長 報告事項については、ここまでとします。本年度、今日が最後の懇談会となっておりますので、感想でも結構ですので、一言ずつ、委員の皆様からお言葉を頂きたいと思っております。

○委員 お疲れ様です。この会議で、いろいろなことが分かりました。学校について考えることは良いことだと思います。また、素人なので、時々思いついたりすると思っておりますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。また、先ほど他の委員がおっしゃったとおり、デザイン性ってすごく大事だと思っています。校舎のデザイン、格好いいものにしていただきたいと思っております。ぜひ、そのところも、意見、テーマ、こんなのがあれば良いなみたいな感じで、素人なりにできたらいいなと思っておりますので、来年度またよろしくお願

いします。

○委員 この懇談会を通じてコンセプトというのが明らかになってきたかと思えます。また、これから実施設計に入りますので、またその辺りにつきましては、より良いものを造っていければと思います。また、その会に参加していければというふうに思います。

あと、一点お願いです。今北側の正門のところに更地になっている土地、知っている人は恐らく知っていると思うのですが、その道を歩く人は、また建売でも建つのかなとか、非常にいろいろな憶測というか噂が飛び交っております。なので、可能な時期に、学校用地とかそのような看板を立てていただいた方が、近隣住民にとってはより安心して、情報公開が進んでいるなど、実感していただけたらと思いますので、よろしくご検討ください。

○委員 私はここに来た時に、まず、機能性というのが一番大事かなと言うつもりで入ってきました。なかなか、体育館の位置、テニスコートの位置があって、思うような設計や配置ができないとかがあるのだなあとと思って、改めて考えています。

ただ、資料にあるように、体育館があって、そこに改めて造らなければならない場合は、今の配置でしょうがないかなと思えますが、これから更地にしてやるのだから、見た目にもスッキリして、機能的にも優れているものを、造っていただければと思います。

○委員 配置図だけではどういう学校になるのかというイメージがわからないのですが、それなりに具体性を考えて、すごい良い学校ができるのかなと期待していきたいと思えます。

○委員 今日、あまり意見が言えなかったもので、ここで一つ、自分なりに気になったことです。計画（案）38ページ、参考意見の中の、テニスコートがいないという意見が三つくらいありますが、これは勘弁してください。ただでさえ部活が少ないのに、女子のテニス部を無くしてしまったら、とんでもない話になってしまうので。

息子はバスケ部ですが、部活がとにかく好きで、初めてスポーツを好きになってくれたので、そういう子が他にも絶対いると思います。そういう子達のためにも施設は無くさないように、お願いしたいと思えます。

○委員 1年間ありがとうございました。座長も副座長もご苦労様です。特に事務局の方はここまで資料をまとめられるのが大変だったのではないかなと非常に感謝しております。皆様から言われた意見も、事務局で、だいたい取り上げていただいているので、安心はしています。この調子で、設計がうまくいくといいなと思っております。

○委員 1年間通じまして、皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。事務局の方も、工夫をいただいていることが、資料を見ていると随所に確認できますし、いろいろな意見が出る中で、最適解を探すのは大変だったことと思えます。

私自身、参加する委員としてはぜひ、将来に子ども達が本当に第五中学校に通えてよかったなど、通いたいと本当に心から思ってくれるような学校づくりに協力できればと思って、メンバーに参加しました。そういう意味では本当に施設としての充実度は大事ですし、先生方のソフトウェア的なところ、今でもかなり、高いレベルに教えていただい

と思いますが、そういった文化を大事にしながら、次代につなげていければと思います。

少なくとも、先ほど日照の件で、しつこく申し上げて恐縮ですが、これだけ広い土地がありますので、うまく位置を変えるとか、そういう工夫で良い学校を造っていただければと思っています。

○委員 皆さんでたくさん意見を言えてよかったと思います。さらに、意見をちゃんと受け入れていただいたことが、本当に私は満足しています。今までの人生の中でも、なかなか会議に出ても意見を言えないような会議もいっぱいありますし、意見が全然反映されないことも経験してきましたので。

近くに武蔵野東学園という学校がありまして、その専修学校は狭いところでラグビー部が一生懸命練習していて、五中生には狭くても頑張っているってほしいなと思っています。工事中の狭さも頑張っているってほしいと思います。

○委員 コロナで会議日程が変更になったり、一中と五中と並行して進めたということで、事務局の方も大変ご苦労なさっていたと思います。どんな学校ができるのか、どんな設計が上がるのか、非常に楽しみです。デザイン性と実用性を兼ね備えた建物。それから今後学級数も変わっていくと思いますので、先生方の数も当然増えます。そうすると、部活も増えるのではないかというような、いろいろな可能性を踏まえつつ、設計をしていただくこととなるかと思っています。

生徒が安全で充実した学校生活を送れるような場であってほしいというのは当然ですが、教職員の方々も働きやすい環境であるべきだと思います。

例えば私は、小さいミーティングルームがあるとか、休憩できる部屋があるというように、教職員の皆様がお忙しい中で、ホッとできるような、場所、時間、働きやすい動線等を考慮いただいた設計にさせていただきたいなと思っています。また来年度もよろしくお願いいたします。

○委員 保護者のママたちとお話している時に、やっぱり小さい子を持っているお母さんたちは、もう不安と期待で、「どうなの、どうなの？」と仮設校舎などすごい気になっています。私はこの懇談会で、仮設校舎も、普通の校舎と遜色ない環境になっていると、聞きましたし、良い噂を立てて、お母さん方に安心してもらおうかなと思います。

武蔵野市は全国的にもオシャレだし、先進的というイメージになっていると思うので、五中も、全国から憧れられるような素敵なデザインの学校になって、みんな私立に流れないで、五中に来てくれる人が増えたらいいなと思います。引き続きよろしくお願いいたします。

○副座長 1年間ありがとうございました。皆さんの各方面からのご意見を聞いて、かなり私の中では揺れました。「確かにそうだ、でもこの意見もそうだ。」と、なかなか答えが出ないようなことがございましたけれども、回数を重ねることの大切さをとても感じました。

できてしまったらば、使い勝手が悪かろうが、安全面、管理面に問題があろうが、それを使い続けなくてはなりませんので、来年度、改築懇談会は2回ですが、ここが肝心かと思っておりますので、しっかりと考えていけたらと良いかと思っております。よろしく願いいたします。

○**座長** 皆様、一年間本当にありがとうございました。この一年間、座長として、議事進行等をやらせていただきましたけれども、なかなかうまく進行ができなかったことも多々あったかと思っております。ご迷惑をおかけしましたこと、お許してください。

ただ、第五中学校の校長として、思うところですが、どんな校舎ができて、とにかく子ども達がそこで輝けるような、そんな学校であって欲しい。それだけに、最高の準備をしていただければと思っております。我々、この一年間、こうやって関わらせていただいた中で、将来校舎ができたときに、あの学校、実は設計前に、こうやって懇談会で我々いろいろな意見を出して、我々自身も胸が張れるような、そのようなことができることを願っております。

1年間いろいろとありがとうございました。皆様のご意見が事務局の方に十分伝わり、新しい校舎に反映されることを、私も願っております。今年度、改築懇談会をつつがなく進めることができました。来年度以降も引き続きご協力を賜りますことをよろしくお願い申し上げます。

○**事務局** 皆様から頂きましたご意見を来年の設計にきちんと生かしてまいります。また来年度もご協力いただければと思っております。よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

○**座長** 以上をもちまして、本日の懇談会を終了します。

それでは皆様お疲れさまでした。ありがとうございました。また来年もよろしくお願い申し上げます。よいお年をお迎えください。

午前 11時30分閉会